

ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館 Press Release

金沢医科大学 との連携講座の開催について

大学の最先端の研究にふれて、自分の好きなものをとことん研究しよう！



講座名	ラボメン限定講座 「透明骨格標本を作って観察しよう」
会場	ふなばし三番瀬環境学習館 2階 多目的ホール
開催日時	2024年9月21日(土) 9:00-12:00
参加費	無料
対象	ラボメン・プロジェクト参加者

概要

ふなばし三番瀬環境学習館では、子どもたち一人ひとりの知的好奇心を引き出し、自主的な学びへつなげることを目的に、船橋市内及び近隣都市の子どもたちを対象とした科学活動への支援プログラム「ラボメン・プロジェクト」を実施しています。今回、当プロジェクト参加者を対象として、金沢医科大学 八田 稔久教授を講師としてお招きし、「透明骨格標本を作って観察しよう」を開催します。

講座では、『迅速全身透明骨染色標本作成法（RAP-B）』の開発者である八田先生の指導のもとアフリカツメガエルやゼブラフィッシュの透明骨格標本を作製し、骨格の観察や骨に関するお話を伺います。

今回の講座は、大学で行われている最先端の研究成果に、当館を利用する子どもたちが直にふれることで、新しい気づきや興味へのきっかけとなることをねらいとしています。ぜひ、ご取材ください。

じんそくぜんしんとうめいこつせんしよくひょうほんさくせいほう

『迅速全身透明骨染色標本作成法』とは

透明骨格標本とは、骨を染色し、筋肉や皮膚組織を透明化した骨格標本のことです。生きていたときのかたちそのままに骨格の観察をすることができます。通常、製作にはおよそ1～数か月を要しますが、八田先生が開発された、『迅速全身透明骨染色標本作成法（RAP-B）』では、特別な装置を必要とせず、およそ3時間で透明骨格標本を作ることができます。教育的な活用に適した手法として、注目されています。

講師紹介

金沢医科大学 医学部 教授。専門は解剖学・発生学。2012年から、日本学術振興会のプログラム「ひらめき☆ときめきサイエンス」にて、透明骨格標本を作製する講座「からだを透かして見てみよう -透明人間できるかな?-」を開催している。



<報道関係のお問合せ先>

ふなばし三番瀬環境学習館 広報担当：小澤、山口
電話：047-435-7711(受付時間9:00-17:00) E-mail: pr@sambanze.jp

ふなばし三番瀬環境学習館

[開館時間]9:00-17:00[休館日]原則月曜（祝日の場合は翌平日）、12/30-1/3※春・夏の長期休暇期間は開館

[有料スペース利用料]一般400円、高校生200円、船橋市外の小・中学生100円[電話]047-435-7711[FAX]047-435-7712